

出席10: 森屋、馬場、河野、相澤、漆田、喜多、千葉、星野、原山、大野(記)

欠席6: 酒井、磯部、大久保、市村、杉山、八重樫

(敬称略、計16名)

AR: Action Required (要対応案件) の意

(審議事項を優先のため、項目 3. 4. 5. 1. 2 の順で進行)

## 1. 報告・連絡事項 (都連、体協、他)

### 1.1 東京都スキー連盟

#### SAT 評議員

SAK より酒井さんが評議員へ立候補。30名枠に37名が立候補し酒井理事は7票獲得して当選。17位当選。合格ライン3票。

初回評議員会は10月15日。事前申請で代理人出席可。

SAT 役員(理事選)は10~15名枠に対し選挙前10名。10月15日の投票結果11名となる。

世界のトップスラロマー選手の講演会(11/12-13 @新宿) 定員150名

事前申し込み要だが、無料。詳細はSAT HP参照。

### 1.2 小平市体協

10月9日のスポーツまつり: SAKからは3名の役員が参加。

10月16日の市民祭り: SAKからは8名が参加。

なお、当日のビラ配りは禁止と事前の体協の打ち合わせにて通達があったとのこと。

そのため、SAKのビラ配布を指摘する声があったとのこと。

(とはいえ、ビラは募集に効果的なので)

来年度は事前にビラ配布の了解をその事前会議にてとるように努力すること。 AR 体協担当

コメント: パレード参加者とは別の人が配ってもいけないのか?

## 2. 総務部 (部長: 千葉 副部長: 大野)

### 2.1 年間スケジュール表

各部毎に列を設定した。各部の詳細をみる時は エクセルの最上部の +, - ボタンを押すことで展開、折りたたみができる。各部毎に記載事項を更新し、理事会の3日前までに総務・大野へ返送すれば、各部の更新を合体させて理事会時または事前に配布予定。

コメント: スケジュールは最初だけは作成されるが、更新されなくなることが多いので注意が必要。

再配布&更新 AR 総務部大野

### 2.2 理事名簿: 更新、配布済み。 << 20161017\_SAK 理事名簿.pdf >>

3. 教育部 (部長：磯部 副部長：杉山) 馬場理事より以下説明。

3.1 指導員研修会 担当と集計状況：

馬場さんより集計のための Format を理事メールリングリストにてこれから送付  
そのフォーマットに記載する形で、次回理事会までに報告のこと。 AR 馬場理事

3.2 SAT へプライズ検定開催申請提出

3月19日実施に向け11月5日にプライズ検定実施団体の代表者の打ち合わせに出席予定

3.3 技術選とプライズの実施要項：

案の席上レビュー (前年の日付のみ改定)

事前講習の講師未定

テクニカル30名、クラウン25名 合計55名を予定。昨年度は70名で1人1万円徴収にて黒字。技術選の最小催行人数および日程は追って追加予定。募集は2月1日～、HP掲載は早めにする予定

スイスホテルを利用予定

プライズ検定合格証はいくらか在庫あり。

シーズンにはいつから現地の関係者へ挨拶予定。状況 Update は1月に行う

3.4 指導員会費

SAK から登録の指導員の数を確認 AR 総務部

上記数から期待できる収入の8割を利用して技術向上、親睦会、研修会補助に使う提案。

席上 上記方針が合意された。

コメント：過去 指導員会費があり、そのような活動をしていたが、幹事不在で消滅した経緯あり。

コンセプトはよいが、この活動を実際に誰がやるのかをきめる必要がある (河野理事)

今回は教育部がリードして実施することを席上確認。

4. 競技部 (部長：漆田、副部長：星野) 漆田理事より以下説明。

4.1 ジュニア会員 (仮称) について： 競技部と合同での協議：進捗なし。次回へ。

4.2 市民大会 (2/11-2/12) の市報掲載の原稿案

漆田理事からの案を席上レビュー

文字数制限があるため表現の簡素化が席上指摘された

他、新潟県 → 長野県、子供¥1000 → 中学生以下 ¥1000, 申し込み金 → 参加費全額 を事前振込み

申し込み詳細はSAK HPへ と記載し、HP上で申し込み ないしは携帯経由 (10項目入れられる) 体育館での申し込みは受け付けない。

5. 事業部 (部長：相澤、副部長：喜多) 相澤理事より以下説明

5.1 ジュニアスクール (12/29-12/31) への外部講師待遇について

外部講師の活用について席上合意が確認された。

待遇はSAK講師と同等でボランティアとして参加いただく。

お子さんを預かるジュニアスクールゆえ、外部講師の安全を担保する必要がある（大野見解）ため次回理事会にて面識ある理事がどのような方なのかの説明は最低限必要。（今回の理事のなかに今回のボランティア参加いただける女性講師と面識がある方がだれもいなかった。）

次回理事会（まにあわなければ、メール）にて理事への説明、紹介の実施。AR：大久保理事

## 5.2 ジュニアスクール(12/29-12/31)の講師の確保

ジュニアスクールの講師の手配をどの部が実施するか議論。

教育部？事業部？との案がでたが決まらず、本年度は 森屋会長より SAK 指導員へ直接打診し募集することとなる。 AR：総務部 指導員のメールアドレスを森屋会長へ送付

## 5.3 ジュニアスクールの見積り：

菅平よりジュニア関連の費用 20 万円の見積り書をなるべく早く入手する。

（補助金 up 狙う）

## 5.4 ジュニアスクールの申し込み書

ジュニアの申し込み用紙を作成し、HPへ掲載する AR：事業部

## 5.5 フェスタ代替スクール(3/18-3/20)：

予算案を席上レビュー。

前提条件：場所は菅平高原、募集 20 名、小型バス 1 台 は前回と変わらず。

ホテルはスイスホテルをニューダボス（食事が美味しい）へ変更。 席上合意された。

最小催行人員は 10 名（赤字が大きすぎ）を 15 名へ変更。 席上合意された。

参加費 3 万円はそのままだが、子供は¥28000 との魅力的価格とする。 席上合意された。

講師が少ないため、参加資格として、1) 小学校 3 年生以上、2) リフトに乗れること  
3) 身の回りの世話が自分でできること との条件を追加する。 席上合意された。

（技術選を菅平にて実施する効果で、一部リフト券を無償で入手できるかも）

最小 15 名でも検定会を実施するかどうか議論したが結論せず。教育部、事業部中心にメールにて協議する。（基本開催に前向きに検討いただく。） AR：11月理事会にて報告。

（席上コメント：

スクール参加者は検定実施を当然期待しているのでは？

1 級検定は可能だが、それ以外はむずかしい。

3 級以下は講習内検定ができるのでは？ 等 )

1 月 20 号の小平市の市報へ募集を掲載する。 AR 事業部

バスのキャンセルポリシー（何日前にキャンセルすると何%ペナルティが発生するか）

をバス会社へ確認する。 AR 事業部

ぎりぎりまで中止の判断を遅らせ、募集人員増を狙う。

## 6. その他

特に更新はなし

次回理事会

平成28年11月理事会→11月16日(水) 19:30~22:00

平成28年12月理事会→12月 TBD日(TBD) 19:30~22:00

以上